

現代朝鮮半島研究
－朝鮮半島をめぐる国際政治－

平岩 俊司
研究室番号：Q5012

1. プロジェクト研究テーマの設定理由と内容

日本に隣接する朝鮮半島は、第二次世界体制の後の冷戦の影響もあって即時独立はかなわず、韓国と北朝鮮がそれぞれ自らの政権の正統性を主張する分断状況となってしまった。この朝鮮半島の動向は日本にとってきわめて重要な意味を持つ。冷戦期に同じ西側陣営に属した韓国とは、双方の国益の観点から関係強化が進められたが、歴史問題などきわめて複雑で微妙な問題を内包する関係となってしまった。また、北朝鮮について言えば、核ミサイル問題への対処のみならず拉致問題をはじめとする日朝二者間の問題の解決が日本外交にとってきわめて重要な課題となった。

本プロジェクト研究では、朝鮮半島の二つの政権と日本との関係について、分析、検討することを目的とする。そのため、朝鮮半島を巡る問題についての文献を講読し、具体的な事例についての研究を通して、日本は朝鮮半島の二つの政権といかに向き合っていかなければならないのか、を考えたい。その上で、それぞれの関心に応じて具体的な問題を取り上げ、個人研究として調査・分析を進めていく。

2. プロジェクト研究の進め方

2年間のプロジェクト研究を通じて、(1)共同研究、(2)個人研究を通して朝鮮半島をめぐる国際政治についての理解を深めていく。なお3年次春学期はQ1に「総合演習A」と合わせて実質的に週2コマのゼミを行い、Q2にはゼミを設定しない。

(1)の共同研究では、共通の研究テーマを決定し、グループあるいは個人による研究発表をもとに議論を深めていく。3年次Q1では、朝鮮半島の基礎的知識を得るために基本的な文献を購読する。(2)の個人研究とは、4年次に提出する卒業論文の作成を指す。卒論のテーマは、主に朝鮮半島を巡る国際政治について各自関心のあるテーマで卒業論文を作成する。その際、日本のみならず米国、中国、ロシアなど各国の朝鮮半島に対する政策も含めてテーマを設定する。その他、適宜時事的な問題についてもとりあげ履修者間で積極的に意見交換できる機会を作る予定である。

3. プロジェクト研究のための前提科目および関連科目

原則として3年次Q1に開講される総合演習A(担当：平岩)を履修すること。コースについてはどのコースでも構わない。

また、3年次には指導教員が担当する講義科目を**必ず履修すること**。履修できない場合には、事前に指導教員の許可を得ること。

4. プロジェクト研究開始までの準備

まず、21世紀構想懇談会 編『戦後70年談話の論点』（日本経済新聞社、2015年、または以下のURLから、https://www.kantei.go.jp/jp/singi/21c_koso/dai5/gijiyousi.pdf）の日韓関係関連部分を読んでおくこと。次に、平岩俊司『北朝鮮は、いま何を考えているのか』（NHK新書、2017年）を読んでおくことが望ましい。

5. その他

- (1) 朝鮮半島を巡る時事問題について関心を持って新聞、テレビなどの報道に注意すること。
- (2) 場合によっては共同研究のために、授業時間外の共同作業が必要になることを承知しておくこと。
- (3) ゼミで決められたルールは必ず守ること。

6. 選考方法

面接実施予定。